



透析センター紹介

透析センター長・腎臓内科 安藤 重輝



若林病院透析センター長の安藤重輝です。2014年に当院に赴任いたしました。仙台医療圏における腎臓内科医療は偏在化しており、腎臓内科が皆無に近かった若林区及び宮城野区、さらには名取など県南地区を中心とした仙台圏の腎臓内科の中核病院となるべく、あらゆる腎疾患に対応するため腎生検・透析導入を2本柱として診療体制を整えてまいりました。それも軌道にのりつつあり、仙台医療センター、仙台市立病院といった近隣の総合病院や、その他各地域の先生方から腎疾患症例を数多くご紹介いただいていることもあり、当院腎臓内科外来には多数の患者様が通院されております。それに伴い透析導入患者数は30人強/年

に上っております。若林区には透析施設が少ないこともあり、当院で透析導入された患者様はそのまま当院で維持透析を行っているケースが多くなっております。そのため、透析患者数は増加の一途で、現在は約80名にまでのぼっており、安藤赴任前と比較し倍増しております。完全2部体制で行っておりますが、ほぼ満床状態であり、他院で透析導入された患者様、転居などに伴い当院での維持透析を希望される患者様におきましては、お受入れが難しい状況です。ご了承いただきますようお願い申し上げます。この現状を受け、将来的には透析センターの拡張・増床なども検討していきたいと思っております。

コンソールの入れ替えにより現在は半数以上の患者様にオンラインHDFを導入し、効率の良い透析を提供しております。透析センター内には血管エコーを常備し、ブラッドアクセスの状態把握、エコーガイド下穿刺なども行っております。また、血漿交換をはじめとする特殊浄化療法も積極的に行っております。その症例の豊富さなどから腎性貧血、皮膚掻痒症といった各種透析関連の治験に参加中であり、医学発展にも貢献していきたい所存です。血液透析医療は近年、目覚しく発展を遂げており、患者様には今後も最新かつ最善の医療を提供していきたいと思っております。

上記のように仙台市内でも屈指の存在となった当院透析センターは、2018年度に日本透析医学会教育関連施設として認定される予定です。

今後も仙台市内における腎臓内科・透析医療の拠点病院として発展していきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

◆◆腎臓内科外来担当医表◆◆

ご紹介いただく際は、患者様の待ち時間軽減のため、地域医療連携室を通した予約をお願い致します。基本的に新患の患者様は月曜の午前中にお受けしておりますが、緊急性の高い患者様に関しましては、随時ご相談ください。お手数をおかけ致しますが、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

		月	火	水	木	金
腎臓内科	新患(午前)	安藤重輝				
	再来		安藤重輝(午後)		安藤重輝	

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 透析センター紹介……………P.1
- 退任医師よりご挨拶・転出医師よりご挨拶・新任医師紹介 ……P.2
- 放射線科検査紹介・呼吸リハビリテーションの取り組み - RSTチーム- ……P.3
- 臨床工学技士に新しい仲間が増えました！・市民公開講座・Topics ……P.4

退任医師よりご挨拶



産婦人科
宇賀神 智久 医師

平成 25 年 7 月から平成 29 年 6 月までの 4 年間、NTT 東日本東北病院ならびに東北医科薬科大学若林病院産婦人科で勤務させていただきました。在職中は地域の先生方をはじめ、医局の先生方、多くのスタッフの方々に支えられながら何とか大過なく仕事をする事ができました。心より感謝申し上げます。

7 月より仙台市立病院産婦人科に勤務しておりますが、今後も若林病院で学んだ経験を生かして仙台の医療に少しでも役に立てるように頑張ってお参りたいと思います。末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(平成 29 年 6 月末日退職)



神経内科・
リハビリテーション科
大和 博 医師

平成 29 年 9 月末日で当院を退職することになりました。平成 18 年から 11 年余りの在職期間でした。これまで近隣の諸先生方にはご指導いただき心から感謝をいたします。同時に至らなかった点、反省すべき点が多々あり、この場をお借りして陳謝いたします。後任は東北医科薬科大学病院神経内科の中島教授、藤盛准教授より毎週火曜日に、また同院リハビリテーション科の室谷准教授より毎週木曜日午後の診療応援をしていただくこととなります。

私は仙台市若林区荒井地区に内科クリニックを開院します。微力ながらも地域医療に貢献する所存です。引き続きご指導を宜しくお願いいたします。

(平成 29 年 9 月末日退職)

転出医師よりご挨拶



循環器内科
三浦 裕 医師

この度、平成 29 年 9 月 1 日付で東北医科薬科大学病院リハビリテーション科に転出いたしました。東北医科薬科大学若林病院には、平成 27 年 4 月から約 2 年半在籍いたしましたが、地域の先生方には日々の診療において多大なご協力をいただき深謝申し上げます。新任地では、心臓リハビリテーションの普及に努めて参ります。今後も若林病院では週 1 回の循環器外来を行います。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

健診センター所長
関口 幸雄 医師

平成 29 年 9 月 1 日付で、東北医科薬科大学 名取守病院 副院長に就任いたしました。

新任医師紹介 よろしくお願いたします !!



健診センター (4 月 1 日付)

ふじい ゆたか
藤井 豊 医師

3 月末 (正式には 4 月 1 日) から、健診センターに勤務しております。長らく、NTT 宮城健康管理センターで専属産業医をしていました。

旧 NTT 東北病院時代、ドックのお手伝いをしていたこともあり、今回の運びとなりました。産業医の目線から仕事をしていく所存です。



後期研修医 (4 月 1 日付)

こばやし やすたか
小林 靖卓 医師

内科の後期研修医として、今年 4 月から当院で勤務しております。現在医師としては 3 年目で、まだ不慣れなところもごございますが、患者の皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



初期研修医 (4 月 1 日付)

まつもと けいじ
松本 啓而 医師

4 月 1 日より初期研修医として働かせていただいております。数ヶ月ごとにいろいろな科をローテーションさせていただきます。日々学ぶことが多いですが、少しでも早く仕事や職場の雰囲気に慣れるよう努力して参ります。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。



産婦人科 (7 月 1 日付)

とらたに じゅんぺい
虎谷 惇平 医師

7 月から産婦人科医として当院で働かせていただくことになりました。産婦人科医としての経験は浅いですが、正確で丁寧な診療を日々心がけたいと思っております。地域の女性の健康に少しでも力になれるようがんばってまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

放射線科検査紹介

放射線科技師長 伊藤 道明



いつも当放射線科へCT、MRI、核医学検査などの検査を、ご依頼いただきありがとうございます。

当院は地域の皆さまの健康をサポートし、地域の医療機関の皆さまと密に連携を行い、安全、安心な医療の提供に努めています。今後も皆さまに信頼される地域の病院でいられるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

放射線科では、CT、MRI、核医学検査、骨密度検査などの検査を受けつけ、検査を行っています。CT、MRI 検査では頭部をはじめ、胸部から骨盤部までほぼ全身の検査を行っています。

まず、当科のCT装置は16列CT装置です。16列CTは診療点数が低いのですが（検査料金が安い！）、コストパフォーマンスに優れ、64列に負けず劣らずの能力を発揮します。また、MRI装置は汎用性に優れた1.5T装置で、様々な検査を行っています。核医学検査においても様々な検査を行っておりますので、詳細については是非お問い合わせください。また骨密度検査においてはDEXA法にて腰椎と大腿骨頸部での検査を行っていますので、骨量の変化を顕著にとらえる事ができます。

当科では2年前よりデジタル画像システムとなり、全ての検査画像においてモニター診断を行っており、様々な専門分野の放射線科医師（非常勤）がCT、MRI、核医学検査の読影を行っております。

最後に依頼方法になりますが、はじめに当院の地域医療連携室にFAXでご連絡いただき、そこで日時、検査内容など詳細を決めていただきます（当院ホームページより専用の依頼書がダウンロードできます）。検査当日は当院の総合受付で受付を行い、放射線科へ来ていただき、検査を行います。検査後は、会計を行いご帰宅となります。検査の結果は、読影報告書とCD-Rまたはフィルムを宅配便で依頼先の病院へお届けいたします（*送料は実費となります）。

このような流れで検査を行っていますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

呼吸リハビリテーションの取り組み - RST チーム -



～RST チーム～

理学療法士 藤原 裕太

当院では慢性閉塞性肺疾患（以下COPD）などの患者を対象に包括的呼吸リハビリテーション（以下リハビリ）を行なっています。

医師、看護師、リハビリセラピスト、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、ソーシャルワーカーなど多職種が治療や教育に関わります。

例として、理学療法では、コンディショニング、動作指導、運動療法を中心に、作業療法では、ADL動作中心に介入を行います。嚥下機能低下例も多く、言語聴覚士が摂食嚥下機能の維持・改善目的に関わります。介入

した患者さんの中には、仕事復帰できた方、旅行に行けた方、スポーツを継続できている方などもいらっしゃいます。

COPD患者は身体活動性が、予後に影響することが知られており、活動性を維持・改善することが重要です。当院では診察やリハビリの際に、日誌を用いての歩数記録や自主トレを指導しています。スポーツ体験の場としてフライングディスク講習会も定期的に開催しています。今回は、初めて患者さん同士の座談会も実施し、交流の場として盛り上がりました。

COPDガイドラインでは軽症患者でも呼吸リハビリが推奨されています。当院では地域の診療所で治療いただきながら、呼吸リハビリを当院で実施する呼吸リハビリ連携を行なっております。当院ホームページに紹介用の書式がございますのでご利用いただければと思います。当院呼吸リハビリチームは、地域の先生方や医療スタッフの皆様と共に、地域の患者さんに貢献できるよう尽力していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



(当院ホームページ)

必要事項をご記入の上、
地域医療連携室宛に
FAX を送信してください
FAX : 022-236-5920



臨床工学技士に新しい仲間が増えました！



こんにちは！私たち2人は今年度から東北医科薬科大学若林病院に入職した臨床工学技士です。私たちが当院の臨床工学技士として初めての新卒の職員ということもあり、まだ分からない事が多く緊張の毎日ですが、先輩方のご指導のもと日々仕事に取り組んでいます。

少しずつですが自分たちのできることが増え、患者様に名前や顔を覚えて頂けるようになってきて、仕事に対するやりがいや嬉しさを感じられるようになってきました。

透析業務、機器点検を担う一人前の臨床工学技士を目指し、また病院と地域の連携をより一層深められるように日々努力していきたいと思えます。

市民公開講座

第6回

『ぜんそくフォーラム』

呼吸器内科部長 **安達 哲也** 医師

薬剤科 **渡辺 昌子** 薬剤師

(平成 29 年 6 月 21 日開催)



これまで、17時15分からの開始でしたが、今回より開催時間を変更し、14時からの開始となりました。通院中の、より多くの患者様からご参加いただきました。

Topics



七夕 (H29.8.7)

玄関ホール前に飾りつけをした大きな笹を飾り、短冊に願い事をしたためました。

らくらくウォーキング

糖尿病チーム主催のウォーキングイベントを5月12日(金)に開催致しました。当日は快晴で、絶好のウォーキング日和でした。今回の参加者は7名で、万歩計を付けて陸奥国分寺薬師堂まで往復3kmを1時間かけてウォーキングしました。薬師堂に詳しい参加者の方のご案内もあり、ウォーキングの楽しさを感じる1日となりました。

(糖尿病チーム理学療法士 菅原 明廣)

～地域医療連携室よりご案内～

東北医科薬科大学若林病院連携の会を、平成29年11月21日(火)に予定しております。

詳細等確定次第、改めて郵送にてご案内させていただきます。

ご多忙の折恐縮ですが、たくさんの先生方をはじめ、看護師、コメディカルの方々のご参加をお待ち申し上げます。

東北医科薬科大学 若林病院
地域医療連携・相談室

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920